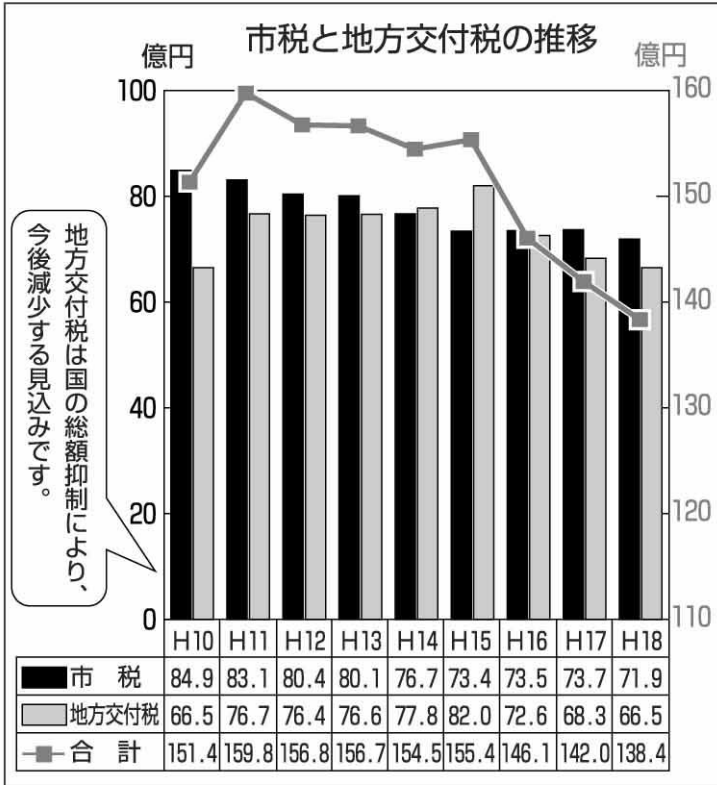


ゆるぎない笠岡の 実現に向けて

財政健全化計画を 見直しました

笠岡市では、市税をはじめとする歳入が、かつてない落ち込みを見せたことから、平成15年7月に「財政健全化計画（平成15年度～17年度）」を策定し、行財政改革に取り組んできました。

今後においても、国の「三位一体の改革」などの歳入不安に対応し、「ゆるぎない笠岡」を実現するために、この一年間の経済情勢や国の動向を踏まえ、「財政健全化計画」を見直しました。



主な取り組み状況

「財政健全化計画」に取り組んだ結果、平成16年度予算は前年度と比較し、必要一般財源を9億7,000万円削減できました。削減額などは次のとおりです。

項目	内容	H16削減目標額	取組後の削減効果額
①人件費の抑制	人員の削減 職員手当の見直し ほか	1億9,000万円	2億7,000万円
②内部管理経費の削減	需用費・役務費の削減 病院補助金の見直し ほか	3億5,000万円	3億1,000万円
③施策の見直し	新規事業計画の見直し	3,000万円	9,000万円
④市債借入額等の抑制	ハード事業一般財源の抑制	未設定	9,000万円
⑤収入の確保	公有地の積極的な売却	3,000万円	2,000万円
⑥その他			1億9,000万円
合計		6億円	9億7,000万円

中期財政の見通し

普通会計を対象に、平成16年度～18年度の中期財政を見通してみました。平成17・18年度では、財政調整基金(*)

の取り崩しを行わないこととすると、地方交付税の落ち込みにより、それぞれ財源不足となります。

(単位：億円)

区分	H14	H15	H16	H17	H18
歳入合計	251.1	239.9	219.6	207.6	204.7
歳出合計	247.4	235.8	218.8	210.5	212.2
収支	3.7	4.1	0.8	△2.9	△7.5
基金取崩額	5.0	6.3	1.3	0	0
基金残高	12.4	9.2	9.9	9.9	9.9

※「基金」は、「財政調整基金」を指します。
※推計は、平成16年7月現在で行いました。

今後の具体的方策

(*)一般家庭でいう預貯金にあたるもので、災害の発生など不測の支出増加や予期しない収入減少に備えるものです。財源に余裕がある年度にお金を積み立てています。

財政健全化計画の目標は、財政調整基金を取り崩さなくとも収支均衡する財政体質を確立することです。そして、財源不足の解消のため、具体

的方策を策定しています。

項目	内容	H17削減目標額
①人件費の抑制	組織機構改革の実施	6,000万円
	人員の削減 職員手当の見直し ほか	
②内部管理経費の削減	旅費の見直し	1億3,000万円
	他会計繰出金等の見直し ほか	
③施策の見直し	民間委託の推進 ほか	2,000万円
④市債借入額等の抑制	ハード事業一般財源の抑制	9,000万円
⑤収入の確保	市税収納率の向上 ほか	1,000万円
⑥その他	予算編成手法の改革 ほか	
合計		3億1,000万円

21世紀のゆるぎない笠岡づくりを進めるため、この計画で示した考え方や項目を確実に実行し、さらに創意工夫を加えながら、行財政改革を推進します。

※財政健全化計画の詳細は、市ホームページに掲載しています。

http://www.city.kasaoka.okayama.jp/

問合せは

財政課 財政係

☎2126まで